

中間発表ルーブリック

				中間発表到達目標	最終目標
		不十分(1)	もう少し(2)	ほぼ十分(3)	十分(4)
課題設定	①研究目的	研究目的が述べられていない。 課題設定が漠然としており、何を明らかにするための研究かが分からない。	研究目的は述べられているが、課題設定が複数あるなど曖昧である。 もしくは課題解決できそうにない高いレベルの課題が設定されている。	研究目的や、興味を持った事象と今回の課題設定の関連性、何を明らかにするための研究かが概ね示されている	研究目的や、興味を持った事象と今回の課題設定の関連性、課題解決の意義が科学的根拠と共に明確に示されている
	②事前調査	研究課題に関する理論・原理や先行研究などの必要な調査ができていない。	研究課題について、調査が行えているが、曖昧な部分がある。もしくは、関連する理論や原理について理解不足が感じられる。	研究課題について、調査が行えており、関連する理論・原理等の理解ができています。文献等の整理・提示もできている。	研究課題について先行研究等の調査が行えており、文献等の整理・提示が適宜できている。また、判明している事柄と判明していない事柄の区別ができています。
実験	③実験の方法	実験の方法や手順が具体的にまとまっていない。	実験の方法や手順が示されているが、課題を解決するための実験になっていない。もしくは精度・実験回数や条件の点で不十分もしくは不適切な点がいくつか見られる。	課題を解決するための実験の方法や手順が述べられており、実験方法も概ね適切である。	課題を解決するための実験の方法や手順が適切に述べられており、全体像がはっきり示されている。 さらに、質の良い操作を行うための工夫が見られる。
結果の科学的見解	④科学的思考・判断	実験方法や実験結果を科学的原理や法則に基づいて説明できていない。	実験結果を表やグラフの形で表しているが、科学的原理や法則に基づく説明が不十分である。	実験結果を適切にまとめて表現するとともに科学的原理や法則に基づき説明している。	実験結果を適切かつ正確に表現しており、科学的知識を用いて論理的に説明している。
今後の取組	⑤具体的な今後の予定	今後の予定が立てられていない。 具体的でない。	今後の予定が立てられているが、取組内容が曖昧である。	具体的な今後の取組の計画が立てられている。	
意欲・態度 (こちらは教員のみ)	⑥主体性、拡張性	実験方法・結果の考察等において教員からの指示待ちである。	実験方法や結果の考察について既存の知識をベースとして考えている。	研究内容を深めるために必要な関連知識や理論・方法等について積極的に調査し、研究に生かそうとしている。	高校の履修範囲外のことも理解・実践するために果敢に挑戦している。